

EA166DN-1(エア式グリースガン)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂くためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

●仕様

- ・グリス容量: 500cc
- ・ノズル長: 150mm
- ・エア吸込口: 1/4" NPT
- ・使用圧力: 0.41~0.62MPa
- ・最大吐出圧力: 20.7MPa
- ・グリス充填: 手詰め・吸込式

●各部名称



使用上の注意

- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは3/8"をご使用ください。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイルを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
- ・ホースを延長して使用するほど(8m以上)、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・使用に際しては良好な状態でソケットやアダプターを使用してください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。

●グリスのセット方法

○手詰め

- 1.ヘッドからグリスタンクを外し、グリスハンドルをいっぱいに引きます。
- 2.グリスをタンクにヘラ等で詰め込みます。(気泡が残らないように注意してください)
- 3.タンクをヘッドに取り付け解除レバーを押すとグリスハンドルが戻りグリスに圧力を加えます。
- 4.同時にエア抜きバルブを押してタンク内のエアを完全に排出してください。

○吸込式

- 1.ヘッドからグリスタンクを外し、タンクの口をグリスに当てます。
- 2.グリスハンドルを引いてグリスをタンク内に吸込みます。
(空気が噛み込んだり気泡が残らないように注意してください)
- 3.タンクの口についた余分なグリスを取り除きタンクをヘッドに取り付けます。
- 4.解除レバーを押すとグリスハンドルが戻りグリスに圧力を加えます。
- 5.同時にエア抜きバルブを押してタンク内のエアを完全に排出してください。

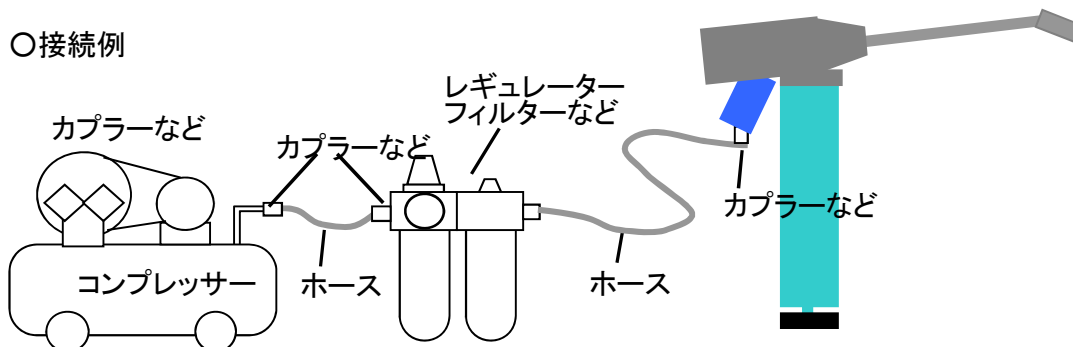


●操作方法

※出荷時はエア吸込み口にアメリカンタイプのプラグが付いていますので、EA140DB-22等国内の一般的なプラグに付け替えることをお勧めします。

- 1.エアラインに接続します。
- 2.トリガーをゆっくり引くと連続してグリスが出ます。
離すと止まります。

○接続例



● 正常に作動しないとき

グリスタンクの中に空気が入っていると思われますので、次の手順で空気を取り除いてください。

- 1.グリスハンドルを少し引いた後、エア抜きバルブを押しながら解除レバーを押してタンク内のグリスに圧力をかけてください。
- 2.1を数回繰り返してタンク内のエアを全て取り除いてください。

● メンテナンス

- ・工具を接続する前に(ISO VG 10)くらいスピンドルオイルを接続口から4～5滴たらしてください。
- ・粘度の高いオイルを差しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルを差した時は、洗い流して適正オイルを差してください。
- ・3～4時間の作業ごとにオイルをさすと、工具が長持ちします。

● 保管

- 1.使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- 2.使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- 3.保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。

 安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業場は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエア工具を使用してください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。手袋を使用するときは、巻き込まれないようにフィットしたすべらない手袋を着用してください。
- ・作業時には必ず防塵用ゴーグルを併用してください。粉塵の多い所では防塵用マスクも併用してください。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。エアホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かしきれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアホースを外してください。
① グリスの充填 ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき
- ・エア工具を運ぶときは、エアホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エア工具を使用するときは、取扱い方法、作業方法、回りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての個所に、異常、損傷がないか確認してください。
- ・メンテナンスや収納の際は必ずエアホースから外してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL (06) 6532-6226 FAX (06) 6541-0929